

研究区分	教員特別研究推進（地域振興）
------	----------------

研究テーマ	地域社会の多文化共生に向けた大学生のソーシャルアクション（第1期）				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	高畑 幸
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	高畑 幸

講演題目
外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援―焼津市と静岡市を中心に―
研究の目的、成果及び今後の展望
○研究の目的 本研究は、静岡県内の外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援を通じて、学際的かつ実践的研究を行うことを目的とし、焼津市の市民団体を連携し、課題解決を担うものである。支援者である大学生および支援対象である外国ルーツの子どもたちを「将来に渡り多文化・多言語社会を担う人材」と捉え、そのための人材育成を継続して行う。 ○成果 （１）焼津市 高畑ゼミ生および専門科目「多文化共生論」の受講生が中心の活動であった。「マイグランドセンター焼津」および「多文化共生・いちご」と連携し、外国にルーツを持つ子どもの日本語教育および学習上の課題を把握し、必要に応じて学生を指導ボランティアとして派遣した。焼津市利右衛門地区で2024年5月に設立された「マイグランドセンター焼津」には七夕やハロウィン等の行事の運営および学習支援に学生を派遣した。また、高畑は同団体の事務的サポートを行った。また、多文化共生・いちごが主催する学習支援イベント「しゅくだいひろば」には2014年から継続的に高畑と学生が参加している。 （２）静岡市 高畑ゼミ生が中心の活動であった。2025年7月26日、静岡市教育委員会が主催する静岡市清水庁舎にて行われた多言語進路ガイダンスにおいて、来場者向けに高校の学習内容や学校生活に関するガイダンスと多文化交流レクリエーション活動を行った。また、2026年2月上旬、教育委員会が主催するプレスクール（次年度に小学校入学予定で外国ルーツの子どもと保護者への学校説明会および模擬授業）の実施に協力し、指導補助を行った。 ○今後の展望 静岡県中部でも外国人人口は増え続けており、学生にとってはより身近な場所で外国人住民とふれあい地域社会の多文化共生を考える機会を作ることができた。一方、外国ルーツの子どもたちの高校進学が増えているが、義務教育とは違って各高校での対応となり、その指導方法および連携リソースの蓄積は少ない。そこで2026年度は新たに焼津市内で外国ルーツの高校生向けの日本語支援教室を開始し、同様に本学学生をボランティアとして派遣する予定である。産学民の連携を継続したい。